

# DropTalk

## 使用機器の概要

- ・タブレット端末
- ・アプリ (DropTalk)

## こんな教材・教具

- ・VOCAアプリ。
- ・来て欲しい人を呼んだりしたいことを伝えたりする。

## (こんな子どもに使用しました)

- ・肢体部門重度重複
- ・発声や絵カード等で意思表示できるが、聞かれたことに答えることが多い。
- ・絵カードの意味を覚えるとすぐに使用できるようになる。
- ・近くにいる人を発声で呼ぶことができるが、来て欲しい人ではなければ関わりを嫌がる。

## 指導のねらい (目標)

- ・来て欲しい人を確実に呼ぶことができる。
- ・したいことを伝えることができる。

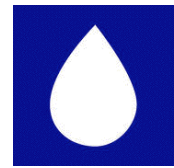
## 指導後の変化

- ・進んでタブレット端末を操作したり、手の届くところに置くように手振りや伝えようとしていたりするようになった。
- ・来て欲しい人が来ることで、笑顔も多くなった。

## キーワード

- ・コミュニケーション
- ・VOCA
- ・アプリ

## 使用する機器



Version 3.1.1

- ・タブレット端末

## 教材・教具の作り方・使用の仕方

### ●キャンバスの作り方

※ 写真を使用する場合、写真を撮りながら作成することもできるが、事前に撮っておいた方が作成がスムーズ。

- 1 アプリを起動し、画面下の「キャンバス」をタップする。
  - 2 左上の「+」、「新規キャンバス」を順にタップする。
  - 3 「コミュニケーション」16種類、「スケジュール」2種類から使用したいものを選ぶ。
- ※ 「コミュニケーション」の「縦2×2」の場合で説明。キャンバス名の変更も可能。
- 4 画面下の「ライブラリ」をタップする。
  - 5 左上の「+」をタップする。  
写真を入れる場合は「新規カテゴリ」を作成した方が整理しやすい。
  - 6 「新規カテゴリ」をタップし、カテゴリ名を入れて左上の「完了」をタップする。
- ※ 作成例として、「新規カテゴリ」を「写真」とする。
- 7 6で作成した「カテゴリ」をタップする。
  - 8 右上「編集」、左上「+」、「新規シンボル」の順にタップする。
  - 9 画像下「編集」、「フォトライブラリ」を順にタップし、使用する写真を選ぶ。
  - 10 シンボル名、音声等、必要なものを入力し、右上「完了」をタップする。
- ※ シンボル名横の「i」をタップすると、シンボルを編集できる。
- 11 必要な枚数分8～10を繰り返し、右上「完了」をタップする。
  - 12 画面下「キャンバス」をタップする。
  - 13 3で選んだキャンバスをタップする。→ 画面上に4つに分かれた枠が表示される。
  - 14 右上「編集」、写真やシンボルを入れたい枠の順にタップする。
- ※ 「ライブラリ」が表示される。
- 15 6で作成した「写真」から使用するものをタップする。4枠分繰り返す。
- ※ 複数ページ必要な場合は、画面上部の緑の「+」をタップし、14～15を繰り返す。

完成！